



日中邦交正常化 50 周年

日本国奈良県 × 清華大学連携フォーラム

日中交流二千年の

あゆみと展望

視聴
無料



かつて平城京の都が置かれ、中国と歴史的なゆかりの深い日本国奈良県は、2019年に清華大学と包括交流に関する覚書を締結し、幅広い分野において交流を重ねています。

本イベントでは、東アジアの国際関係に精通した著名な有識者による基調講演や、パネルディスカッションを通して、日中交流促進のために日本国奈良県が果たすべき役割等について意見を交わしていただきます。

日本時間

14:00 ▶ 16:30 (予定)

(北京時間 13:00 ~ 15:30)

2022年

12月18日

ZOOMによるオンライン配信
※同時通訳 (中国語・英語・日本語)

第
1
部

基調講演「ライシャワーレガシーと新しい日中関係」

◇講師：ケント・E・カルダー

(ジョンズホプキンス大学(SAIS)附属ライシャワー東アジア研究センター長)

第
2
部

パネルディスカッション「奈良から考える日中交流」

◇パネリスト：荒井 正吾 (日本国奈良県知事)

ケント・E・カルダー

佐々江 賢一郎 (日本国際問題研究所理事長)

李 廷江 (清華大学日本研究センター主任)

◇ファシリテーター：八木 早希 (フリーアナウンサー)

申込方法 (締切：2022年12月15日 (木))

申し込みはQRコードかURLから

<https://www.secure.pref.nara.jp/3143.html>



主催：奈良県

出演者のプロフィール

～ 〈第1部〉 基調講演 / 〈第2部〉 パネルディスカッション ～



KENT E. CALDER ケント E. カルダー

(ジョージタウン大学 (SAIS) 附属ライシャワー東アジア研究センター長)

ハーバード大学大学院修士課程及び博士課程を修了。
ハーバード大学日米関係プログラム初代事務局長。
その後プリンストン大学ウッドロー・ウィルソン政治大学院で20年間教鞭を執った。
この間、米国戦略国際問題研究所 (CSIS) 日本部長、駐日米国大使特別補佐官などを歴任。
2003年から現職。2018年から4年間、副学長と学長を務めた。

～ 〈第2部〉 パネルディスカッション ～



荒井 正吾

(日本国奈良県知事)

1968年、東京大学法学部卒業。
同年運輸省 (現国土交通省) に入省し、OECD日本政府代表部等での勤務を経て、運輸省自動車交通局長、海上保安庁長官などを歴任。退官後の2001年から参議院議員として、外務大臣政務官や参議院文教科学委員長などを務める。2007年に奈良県知事に就任し、現在4期目。



佐々江 賢一郎

(日本国際問題研究所理事長)

1974年、東京大学法学部卒業。
同年外務省に入省し、在英日本大使館や在ジュネーブ国際機関日本政府代表部勤務を経て、経済局長、アジア大洋州局長、外務審議官、外務次官、駐米特命全権大使などを歴任。
2018年より現職。多くの対外経済交渉を手掛け、「六者協議」の日本代表、G8サミットの政務局長を務めるなど、外交官として豊富で幅広い経験を持つ。



李 廷江

(清華大学日本研究センター主任)

1977年、清華大学日本語学科卒業。
中国社会科学院を経て、東京大学大学院にて国際関係論分野における日本の第一人者である衛藤藩吉氏に師事。米国ハーバード大学ライシャワー日本研究所客員研究員や亜細亜大学国際関係学部教授などを経て、2008年から現職。また、中央大学法学部教授も務める。



八木 早希

(フリーアナウンサー)

2001年、同志社大学文学部卒業。
同年毎日放送に入社し、アナウンサーとして幅広く活躍。2011年、毎日放送退社後は、フリーアナウンサーとして、日本テレビ「NEWS ZERO」のキャスターを務めたほか、大勢の政治家、著名人、ハリウッド俳優らへインタビュー、国内外の取材多数。コミュニケーション等に関する講演活動も行う。

お申込はこちらから

視聴を希望される方には、視聴用URLを送付いたしますので、事前にお申込みください。

申込締切：2022年12月15日 (木)

参加の申し込みはこちらのQRコードを読み取りいただくか、以下のURLでお願いします。視聴は無料です。ただし通信により発生する費用はご参加者様の負担になります。

<https://www.secure.pref.nara.jp/3143.html>



内容変更・中止の可能性について

新型コロナウイルス感染症の情勢によっては、内容の変更や、やむを得ず中止する場合があります。なお、中止を決定した場合は、別途、お知らせいたします。